

白石倉庫社長

# ウクライナ支援に尽力

## 関係団体で寄付よびかけ

【宮城】白石倉庫（宮城県白石市）の太宰栄一社長が、ウクライナ支援へ積極的に動いている。同氏が発起人となり、かつて所属していた団体などに呼び掛けて義援金を募り、ある程度まとまった資金になった段階で大使館へ届ける。これまで2団体からの寄付にこぎ着けた。

10日は、太宰氏がかつて会長を務めたみやぎ商工中金ユース会の福田大輔会長と今野均前会長、和田政宗参院議員（比例）とともにウクライナ大使館を訪問。セルギー・コルスンスキー大使に、3月から集めてきた義援金を手渡した。また、



太宰氏が理事になっている全国ソロモン会（住田陸快会長）では、既に3月に寄付を行った。太宰氏によると、今後も複数の団体でこ

ウクライナ大使館を訪れた太宰社長（右から2人目）ら

ろうした活動が計画されているという。義援金の働き掛けについて、太宰氏は「歴史を振り返ると、ウクライナ同様に国土を脅かされた過去を持つ日本有志が、ウクライナの支援、復興に協力することは意義深い」と話している。

（今松大）